



最近、急に冷え込み、秋が深まってきた上松です。さて、木材造形科はほとんどのペアが整理箱完成。グループ製作を順調に進めている最中です。まずは完成した整理箱をいくつかご紹介します。



栗の整理箱。
今年の整理箱は、着色をしています。
塗装で木目がしっかり現れました。



脚付きの整理箱も。
マットでしっとり滑らかな雰囲気仕上がっています。



角の組み方は、今年も様々。
こだわりが垣間見えますね。
取っ手も、用意されたものを使用、用意されたものを加工、オリジナルと様々です。
ベースは同じ形でも、選択肢によってこんなにも印象が変わるのかと驚きます。
さて、グループ製作もご紹介。



グループ製作は、以下の製品を4グループに分かれて製作しています。

- ①J39(座編みの椅子)、蓋つき小箱
- ②CH53(座編みの椅子)、箱膳
- ③ウルムスツール、オーバルボックス
- ④スツール、蛇腹の小箱



蓋つき小箱の製作中。
塗装前のペーパーがけですが、表面を触らせてもらくと、とてもスベスベ。
樹種は栃です。
小箱の製作にはその他にも、木目が美しい銘木が使われていました。



こちらは箱膳。
協力して組み立てています。
箱膳は、現代の生活ではほとんど見るものがなくなりましたが、食器の収納と食台を兼ねた、伝統的な製品です。



オーバルボックスの曲げ作業です。
湯に漬け柔軟性を持たせた板を型に沿わせて曲げ、急いで紐と板の間に木片を差し込んで固定しています。
板を破損させないように注意しながらも、素早的的確に作業。
とても大変そうでしたが、それ以上に楽しそうでもありました。



蛇腹チーム。
手際よく組み立て作業をしていました。
蛇腹部分に使う板材を並べていた所を見ると、予備も含めると大量で、一本一本仕上げていくのかと思うと、とても根気のいる製品です。



それぞれのグループで製作していますが、他のグループの製作も様子を見にいき勉強します。
この機会に、たくさん知識を身につけたいですね。